

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は議長、議会選出監査委員を除く14名の委員で構成。

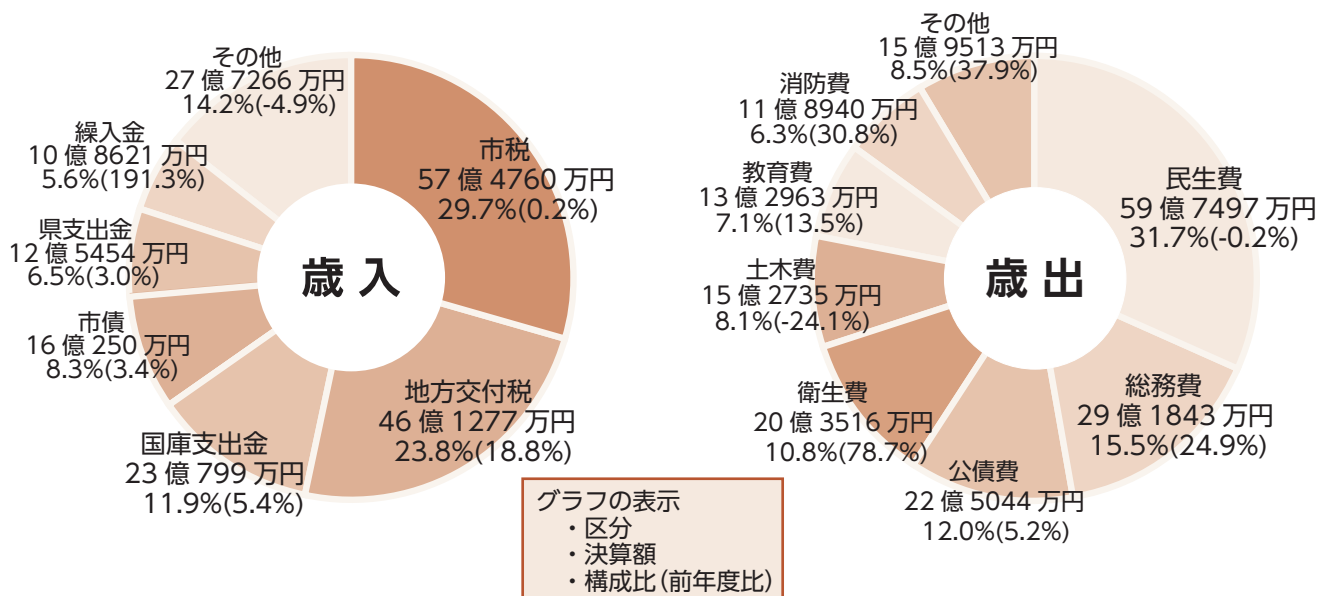
(9月10日、11日、14日、15日、16日開催)

○委員会付託案件の審査

今年度より、各決算議案の審査は決算審査特別委員会に付託し、一般会計、特別会計、公営企業会計のそれぞれの決算の認定を審査いたしました。

一般会計決算の内訳

【歳入総額】 193億8427万1910円 【歳出総額】 188億2051万7850円



特別会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

【歳入総額】 86億3678万2321円 【歳出総額】 85億3776万8965円

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	44億534万円 (-6.4%)	43億4573万円 (-7.3%)
後期高齢者医療特別会計	8億2112万円 (3.9%)	8億1888万円 (4.0%)
介護保険特別会計	34億1032万円 (-1.4%)	33億7314万円 (-0.2%)

公営企業会計決算の内訳 (カッコ内は前年度比)

	歳入	歳出
水道事業会計収益的収支	9億6818万円 (-0.6%)	9億2021万円 (-0.6%)
水道事業会計資本的収支	2億3150万円 (-23.9%)	4億9479万円 (-12.4%)
下水道事業会計収益的収支	16億5366万円 —	14億1189万円 —
下水道事業会計資本的収支	2億2844万円 —	7億6180万円 —

※資本的収支額で不足する金額については、過年度分損益勘定留保資金等で補填されました。

※下水道・農業集落排水事業特別会計は、下水道事業会計となったため、前年度比の記載はありません。

○審査内容（主な質疑を抜粋）

Q 防災士の資格取得の補助金について伺う

A 令和元年度は資格取得にかかる費用1万1500円に対し1万1000円の補助を23名に対し交付いたしました。令和元年度は補助対象者が予定より多かったため、令和2年度は増額をしております。



▲神立停車場線

Q 土木費が平成30年度と比べてだいぶ減っているようだが、主な要因は

A 平成30年度に実施しました神立停車場線などの工事の減が主な内容と考えます。

Q 教育費は平成30年度と比べて大幅増となっているが、主な要因は

A 下稲吉中学校体育館の用地取得や旧安食小学校の博物館収蔵施設への用途変更工事、また、いきいき茨城ゆめ国体2019の実行委員会の補助等となっております。



▲わかぐり運動公園で実施されたいきいき茨城ゆめ国体プレ競技 ペタンク



▲防災無線施設（上土田地内）

Q 消防費の平成30年度と比べての支出増の要因は

A 主な要因としては、防災無線整備事業において3億5千万円の支出増となっております。

本会議で行われた主な討論

議案第43号

令和元年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成	反対
<ul style="list-style-type: none"> 交流人口の拡大に向け、古民家江口屋の完成や歩崎公園湖岸棧橋の完成など、事業の活性化が期待される。また、地域経済の活性化につながる企業立地やスマートインターチェンジに向けた可能性調査を行うなど市の将来を見据えた事業の調査も進んでいる。このようにさまざまな課題に正面から向き合い、まちづくりを愚直に進めようとする積極的な事業展開がされており、その姿勢が十分に評価できるため賛成。 	<ul style="list-style-type: none"> 新広域ごみ処理施設建設は現有施設を活用すべきであり、観光事業への投資について棧橋は無駄であり、ウエルネスプラザは箱もの行政の典型的な無駄であり、スマートインターチェンジに係る調査は無駄、千代田神立ラインのバスの利用者は少なく事業の見直しが必要と考えるため反対。